

万協フローア MFシリーズ 施工要領書

1.はじめに

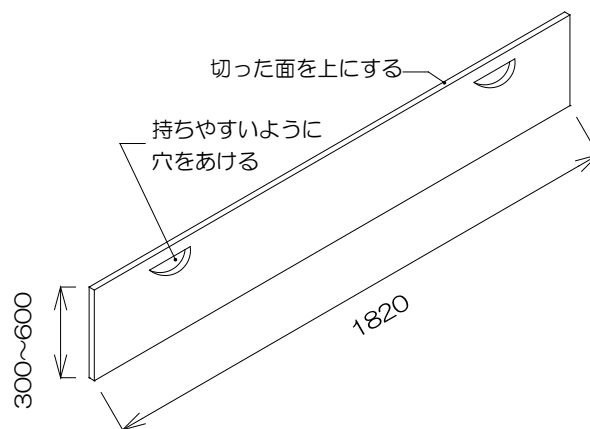
このたびは弊社二重床をご採用いただきありがとうございます。
製品の特徴を十分に生かし、安全で美しい仕上がりに施工して頂くために
本書をよく読み、正しくお取り扱いいただきますようお願いします。

2.施工工具一覧

- 電動ノコギリ（丸ノコ）
- ドライバー（+）
- インパクトドライバー（ビス留めの場合）
- 水平器
- 水糸
- レーザー水平器
- スケール
- カッター
- 定規（下図参照）※1
- ほうき
- ちりとり

※1 定規

パーティクルボードを半分に切って作ります。



3.製品仕様

①パーティクルボード（以下、パーティとする）

（厚さ）20mm（25mm、30mm）×（幅）450mm×（長さ）910mm

（厚さ）20mm（25mm、30mm）×（幅）450mm×（長さ）1820mm

注意 万協指定のパーティをご使用ください。

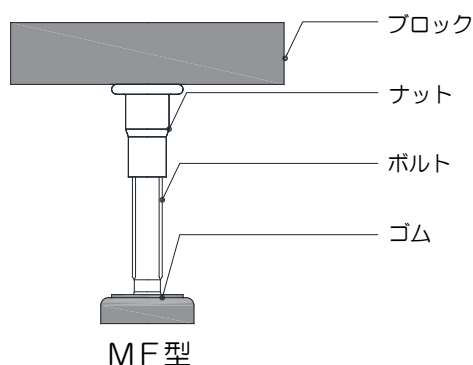
パーティはぬらさないでください。

直射日光の当たる場所に長時間放置しないでください。

②支持脚の構成

MF-230以上の品番は、ボルトが太くなります。

ブロック頭部にブチルテープは、付属しておりません。



③接着剤

中ブタを取り、ノズルの先端をカッターで切って使用します。

冬季など低温度・低湿度のときは硬化しにくい場合があります。

注意 万協フローア指定の接着剤をご使用ください。

注意 接着剤のラベルに係れている注意事項をよく読んでご使用ください。



注意 標準入数の半数以下のご注文の場合、接着剤は同梱されませんので、別途購入してください。

④ビス（パーティ固定用（同梱））

パーティ厚20mm 長さ 38mm（S38）、一脚あたり4本

パーティ厚25・30mm 長さ 45mm（L45）、一脚あたり4本

4. 施工手順

4.1 施工を始める前に

- スラブ面にゴミがないように清掃します。
- 床高に合った支持脚であるか確認します。
- パーチの枚数を確認します。
- 床下配管の位置を確認します。
- フローリングの方向を確認します。(パーチを張る方向はフローリングと直交にする。)

注意 床先行工法の場合、間仕切壁の位置を確認し、パーチの目地と間仕切りの位置が合わないようパーチを割り付けてください。

ランナーは、パーチに直接固定してください。

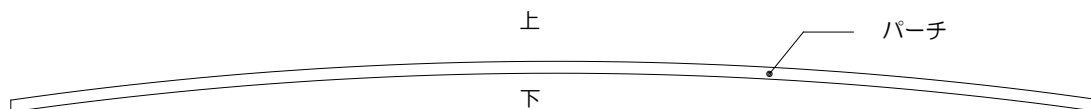
パーチの目地にビスがあたると、床鳴りの原因となります。

注意 スラブがぬれている場所、水たまりがある場所は、乾かしてから施工してください。

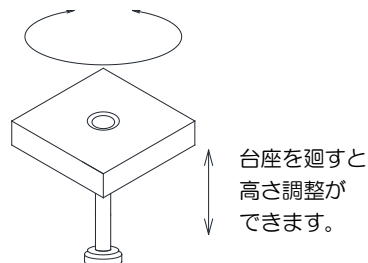
4.2 パーチの敷設

①パーチの反りを見ます。

パーチに反りがある場合、ふくらんでいる面が上になる様に施工します。



②台座を廻し支持脚を適切な高さに調整します。



注意 パーチ同士の間隔を8mmにするため、ボルトが台座よりも上に出ることはありません。(ボルトが台座よりも出る場合には、パーチ同士の目地を8mmで施工できませんので、適正な品番を使用してください。)

③壁際の施工

施工方法は次の3種類があります。

(1) システムネダ

(2) 在来根太

それぞれ手順がことなりますので指定の仕様に合わせて施工してください。

(1) システムネダの場合

施工方法は次の2種類があります。

(a) 壁につける施工方法

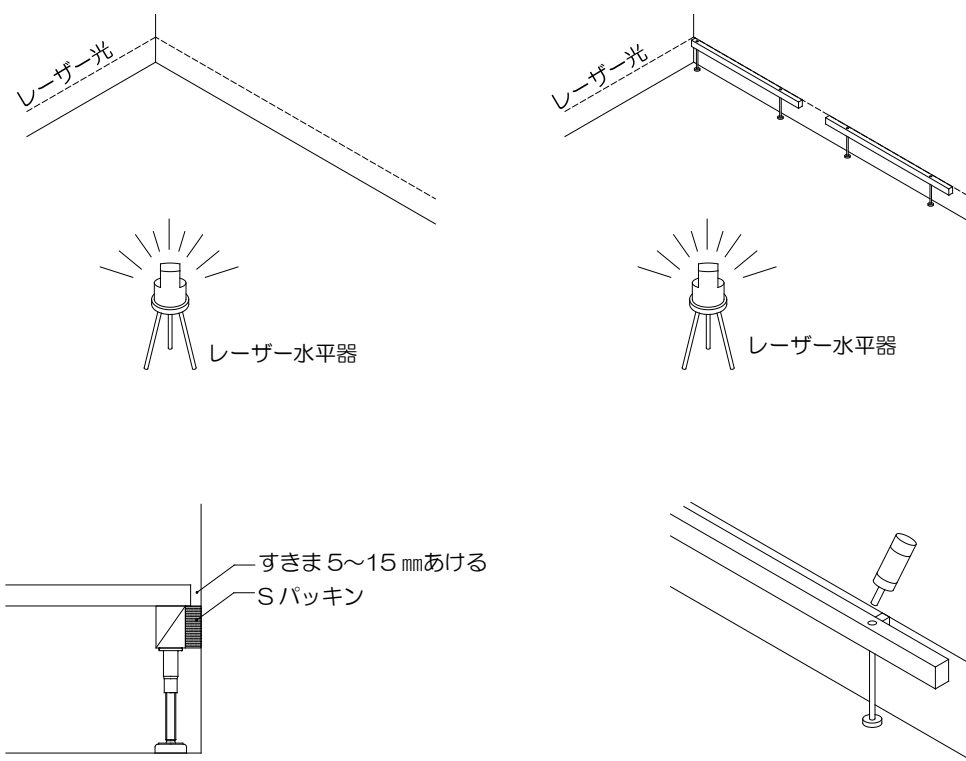
(b) パーチにつける施工方法

(a) 壁につける施工方法

レーザー水平器を設置し、壁にレーザーをあてます。

レーザーを基準となる高さに合わせ、システムネダを設置します。

接着剤を注入します。



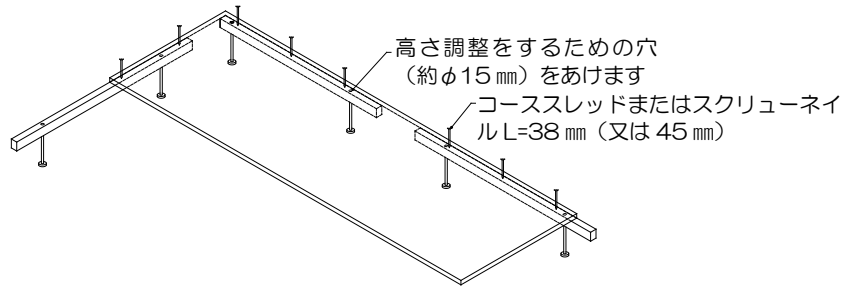
壁際部（システムネダ）

(b) パーチにつける施工方法

パーチにシステムネダの高さを調整する穴（約 $\phi 15\text{mm}$ ）をあけます。

次に、システムネダをパーチにビスで固定します。

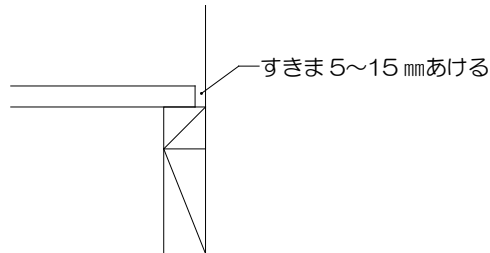
システムネダはパーチを張りながら取り付けていきます。



(2) 在来根太の場合

在来根太が正しく施工されているか確認します。(高さ・束ピッチ)。

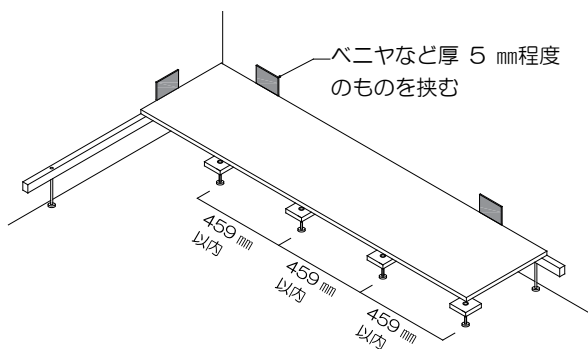
パーチは、在来根太にビスまたは釘で約300mmピッチの間隔で固定します。



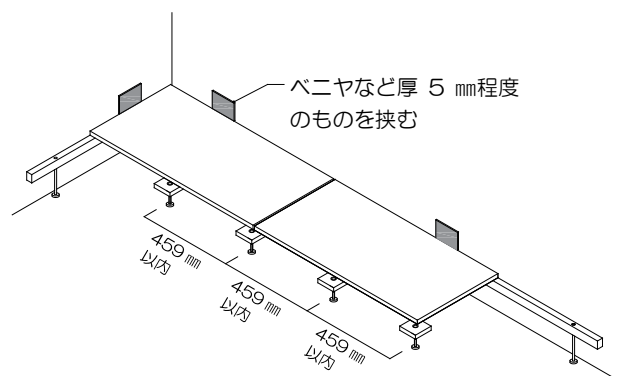
壁際部 (在来根太)

壁際の施工方法は以上です。

④ 支持脚は約455mmピッチ (459mm以内) でパーチに固定します。

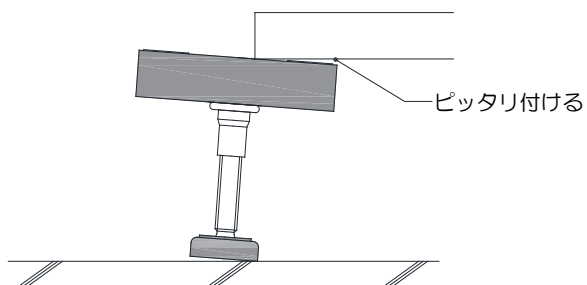


(例：パーチ450mm×1820mm)

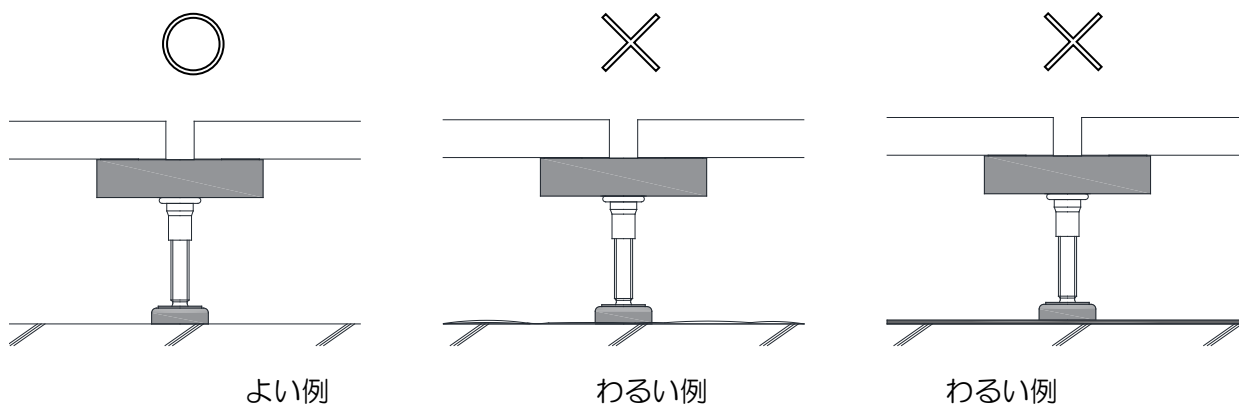


(例：パーチ450mm×910mm)

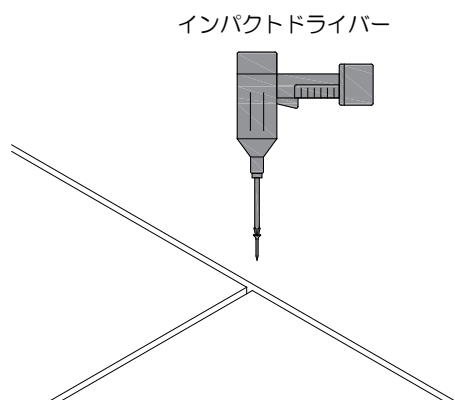
注意 支持脚はパーチにしっかり留めつけてください。
浮いていると床鳴りの原因になります。



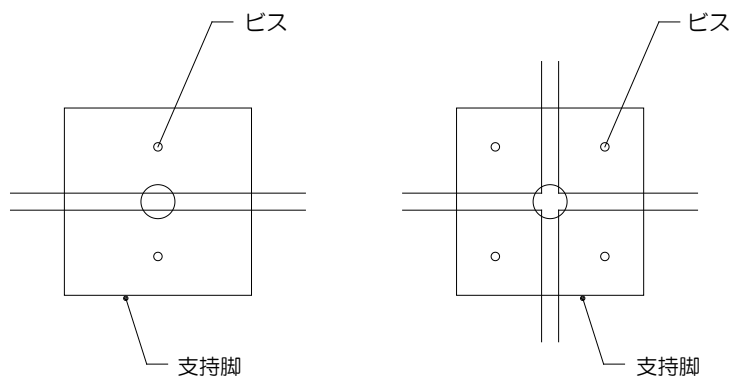
注意 支持脚の下には、物をはさまないでください。
床鳴りの原因になることがあります。
支持脚は、直接スラブに接するようにします。

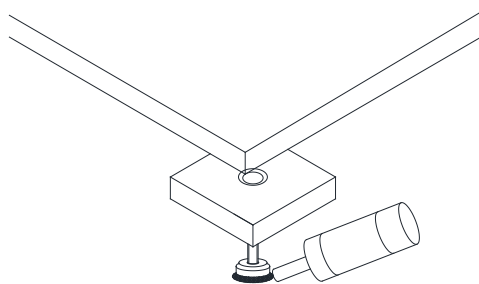


パーチを一枚張るごとにビスで支持脚をパーチに固定します。



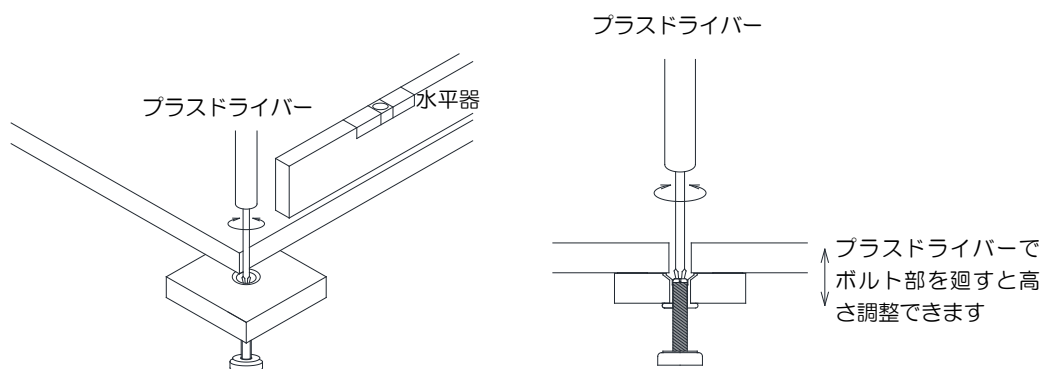
支持脚のビス打ち位置は下図の箇所です。





注意 接着剤注入後に接着剤の確認ができない箇所も、防振ゴムの底部に接着剤を付けながら施工してください。

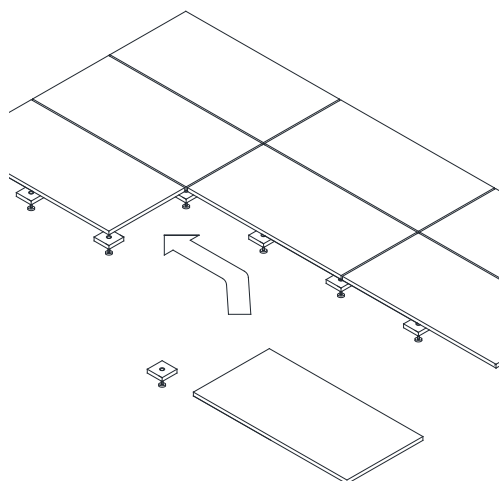
⑤ パーチを1枚張るごとに、水平器またはレーザー水平器でパーチを水平にします。



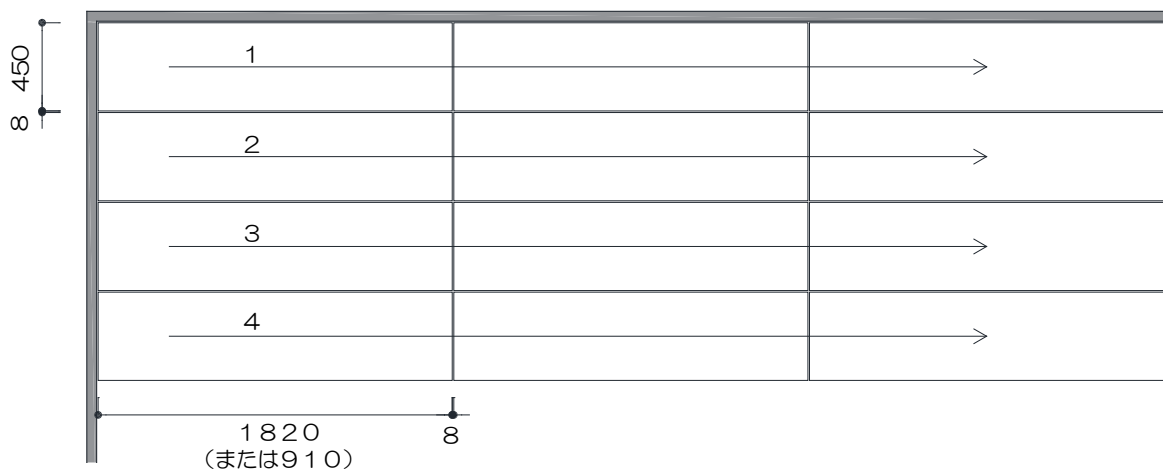
注意 製造工程上、ボルト頭部の十字溝に一部変形がみられるものがありますが、不良品ではありません。

注意 インパクトドライバーや電動工具等でレベル調整を行うと、過度な負荷がかかり、ネジ山がつぶれる恐れがありますのでご注意ください。

注意 パーチ同士のすきま（目地）は約8mmあけます。
（例：パーチ450mm×910mm）



パーチの割付、張る順番は図（矢印）のとおりです。



注意 張り仕舞いで、パーチの幅が200mm 以下になる場合、前の列のパーチの幅を細くするなどして、床パネルの幅が200mmより細くならないようにしてください。

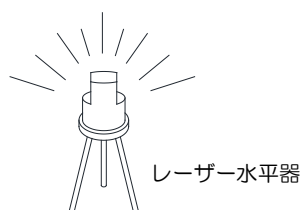
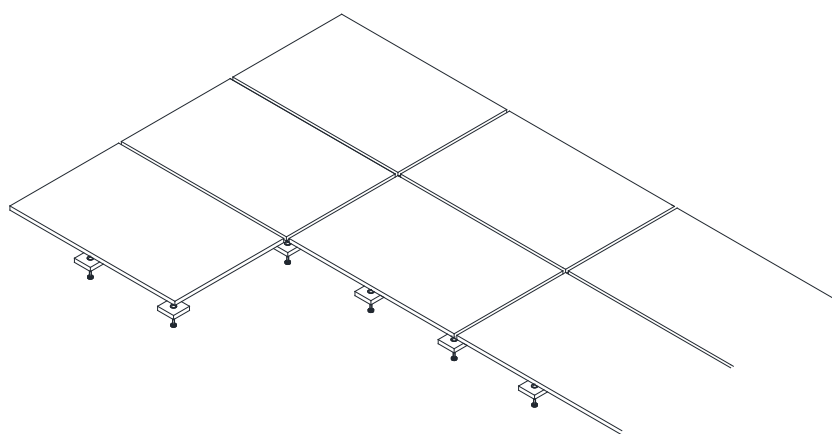
注意 パーチの表裏面に、キズ（ノコギリの切れ目など）のあるものは、使用しないでください。

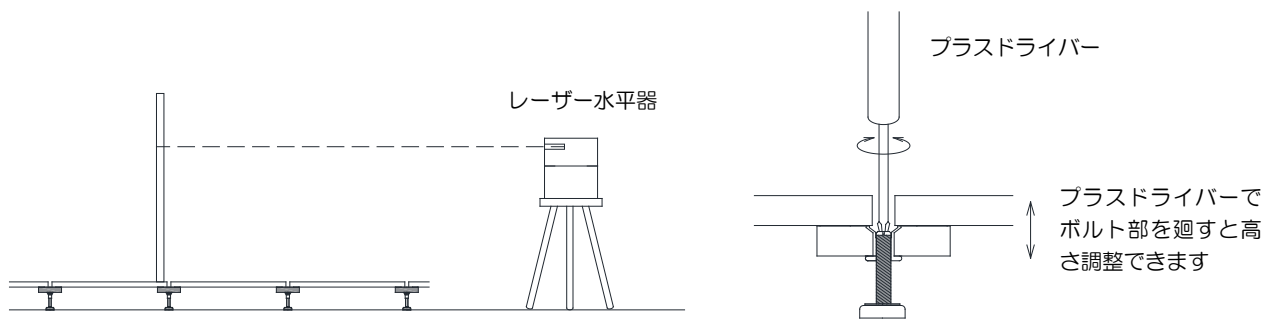
4.3 レベル再調整

レーザー水平器の場合

レーザー水平器を設置します。

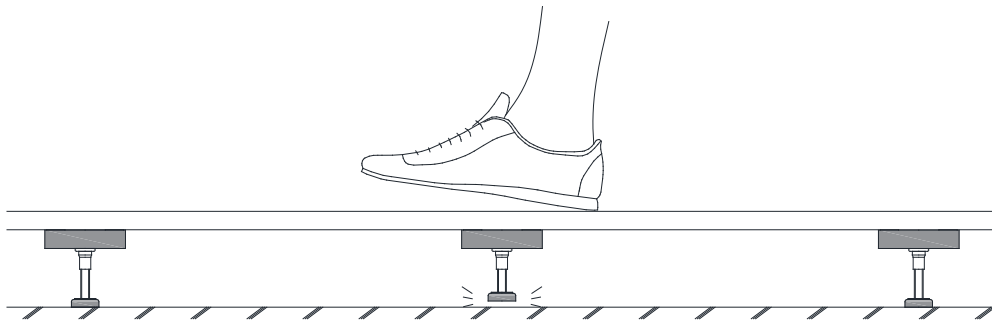
かね尺等を支持脚上に立て、ドライバーでボルトを廻し、同じ位置にレーザーがあたるように高さを調整します。





4.4 床全体のレベル点検

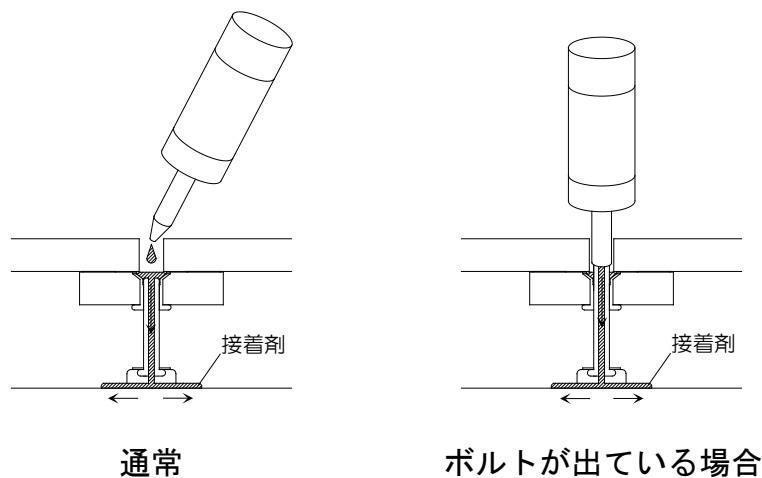
床のレベル調整がすべて終わったら床全体を歩いて、支持脚の「浮き」が無いか確認します。浮いている箇所は、支持脚がスラブに付くまで、ボルトを廻します。このとき、パチの水平を保つようにしてください。



支持脚の上を歩いて、他よりやわらかく感じたら、浮いている可能性があります。

4.5 接着剤の注入

すべての支持脚ボルト部に接着剤を注入します。ボルト頭部に木くずなどゴミがある場合には必ず取り除いてから、接着剤を注入してください。



ボルトが出ている場合は、ボルトの頭部にノズルを挿して注入します。

接着剤は台座とボルトおよびスラブと支持脚を接着します。

接着剤が硬化するには、1～2日くらいかかります。この間、床上に重量物を置いたり、歩いたりしないでください。

注入量の目安は MF- 60 ～ 195 3ml

MF-210 ～ 660 5ml

MF-720 ～ 1080 7mlです。

※ゴムの周囲に接着剤が出ていることを確認します。

5. その他

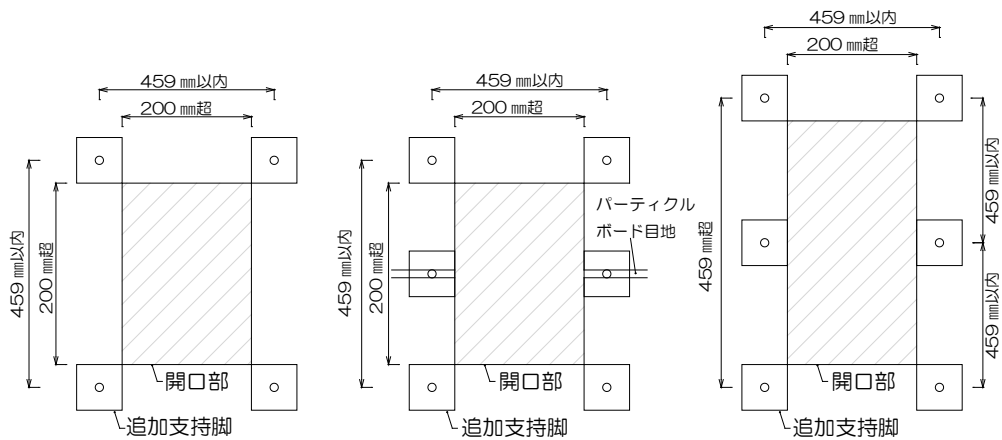
5.1 床に穴をあける場合の処置

床下地に穴をあけると、開口部の大きさによってその箇所の強度が低下することがあります。開口が200mmを超える場合は、以下の条件をもとに下図に示す追加支持脚を入れます。

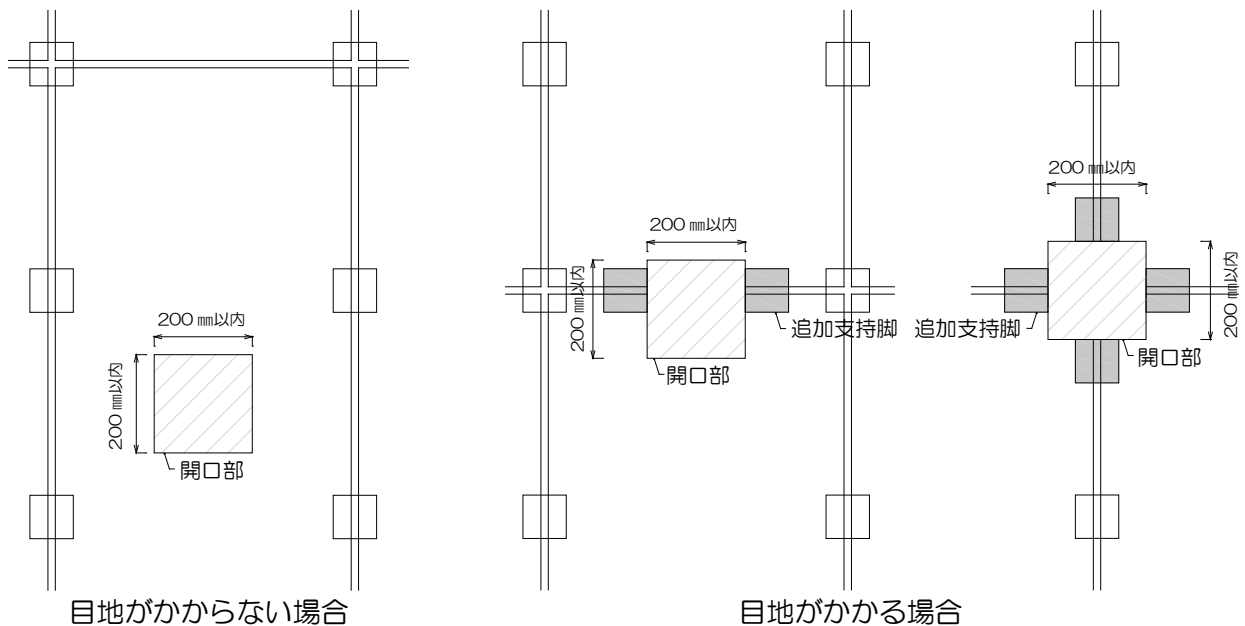
- 開口部の四隅
- パーチの目地部

支持脚の間隔が459mmを超える場合には、中間に支持脚を追加します。

注意 床に開口部を設ける際、丸鋸の切込みが残らないようにしてください。



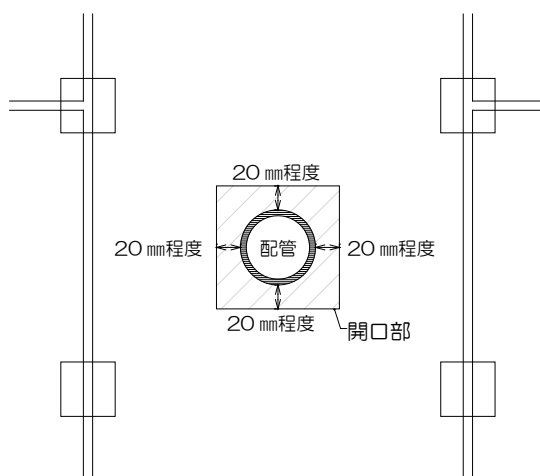
開口部に目地がかかる場合には、開口が200mm以内であっても支持脚を追加してください。



5.2 床下配管の立上り部

配管周りは、配管とパーチが触れないよう20mm程度離します。

注意 パーチが配管に触れると、床鳴りの原因になります。



5.3 その他の注意事項

①水を使用する作業

- ・二重床の上で、水を使用する作業を行う場合は、必ずビニールシート養生を行ってください。

②資材の仮置き

- ・二重床の上に、資材を仮置きする場合は、1ヶ所にまとめず、分散させ、静かに置いてください。(目安としては200kg/m²まで)
- ・まとめて仮置きした場合、床のたわみが戻るまで時間がかかり、仕上げ材の施工に支障が出る恐れがあります。

③その他

- ・二重床の上は、搬入経路等で使用しないでください。
- ・二重床施工後、床上に強い衝撃を加えないでください。建築資材の落下などにより、パーチが割れる場合があります。
- ・風雨にさらされる場所への施工は、避けてください。
- ・施工要領書に記載のない施工をおこなう場合は、事前にご相談下さい。
- ・事業主様によっては、本施工要領書とは別に規定を設けている場合がありますので、ご確認の上、施工をおこなうようご注意ください。
- ・スラブから放出される水分が多い場合や漏水等により二重床下の空間で多湿状態(※1)が続くと、床材の反り、突き上げなどの原因になりますのでご注意ください。
- ・自然現象・周辺環境等(※2)の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れ又はその他の不具合による商品の交換等には対応いたしかねます。

(※1) 湿度65%以上になるとカビが生えやすい環境となり、湿度90%を超えると数日でカビが発生する可能性があります。

(※2) 火災・地震・水害・落雷などの天災地変や公害・塩害・ガス害や異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境

「仕様は予告なく変更することがあります。」